

目 次

・ 総括研究報告	
エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究	----- 1
帖佐悦男	
・ 分担研究報告	
1 . ロコモティブシンドロームとフレイルおよびサルコペニアとの関係に 関する研究	----- 7
新開省二	
2 . ロコモティブシンドロームの疫学：住民コホートデータの解析	----- 18
吉村典子	
3 . 歩行補助具の必要性を評価可能な指標とその臨床判断値についての検討	-- 21
村永信吾	
4 . Potential Benefits of Stand-up Tests to Screen Early Mobility Decline in Assistive-Care Beneficiaries	----- 27
村永信吾	
5 . エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究	---- 32
帖佐悦男	
6 . エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究	----- 37
石橋英明	
7 . 通所リハビリテーションを利用する要介護高齢者におけるロコトレの効果 ～ランダム化比較対照試験における検討～	----- 61
村永信吾	
8 . ロコモティブシンドロームの対策における簡便な介入方法の確立	----- 65
藤野圭司	
・ 研究成果の刊行に関する一覧表	----- 67